



未永く後世に伝える森づくり

実施場所：弘川寺歴史と文化の森（河南町）
活動主体：特定非営利活動法人里山倶楽部

2016年度
緑化樹配付事業



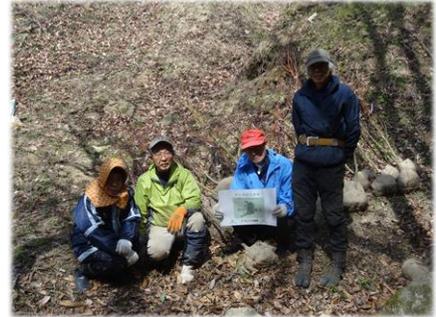
西行法師終焉の地といわれる弘川寺



弘川寺周辺の桜山は、約20年前に「弘川寺歴史と文化の森」として整備され、現在は、桜の植樹や、里山の回復・保全活動など、「弘川千年の森づくり」が行われています。

春は桜、秋には紅葉が楽しめるようにと、2016年度にイロハモミジを中心に計170本の植樹が行われました。

里山倶楽部では、月1回の草刈りや間伐などの里山保全のほか、地元小学校の植樹体験や企業の里山体験の受け入れなど、様々な取り組みを実施しています。



里山倶楽部の活動に興味を持った方が自由に参加できる定例活動日「里山ボランティアの日」を設定し、様々な活動を行っています。その中の一つ、弘川寺「千年の森」の保全活動では、毎月1回、草刈り、植栽、支障木や枯れ木の処理などを行っています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により中断していた学校林活動や企業等との協働による植樹活動を今年度から再開し、多くの方に里山の魅力、大切さを伝えています。



最近では学生の参加が増えています。若者たちが里山に興味を持ち、自然と共に生きることを学ぶ機会と場所を提供していきたいです。